

N700系新幹線の連結部の全周ほろ用接着剤の開発、耐久性評価に携わった講師が詳しく解説。

# 異種材料接着・接合技術の最新と強度・耐久性評価法の実務

～問題解決と技術コンサルティング～

日時  
 2019年 10月9日(水)  
 10:30～16:30

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講師 鈴木接着技術研究所 所長 工学博士 技術士(機械部門:構造接着)  
 鈴木 靖昭氏(元)日本車輛製造(株) 開発本部 部長

受講料

1名 45,000円+税  
 2名以上1名 42,000円+税  
 案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
 JR中央線(緩行線)  
 地下鉄東西線(A5出口)  
 地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
 都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講座の概要・POINT 接着力発現の原理、接着剤・表面処理法の理論的選定法、異種材料の接着、樹脂射出一体成形法、レーザー接合法、化学反応法など最新の接合法について、強度および耐久性向上のメカニズムとともに解説します。また、各種継手に発生する応力分布、変形、および破壊条件の“解析法”(CZM法を含む)それに基づく強い接着構造の“設計法”、負荷応力の時間的分布と接着強度のばらつきに基づいたストレス-強度モデルによる継手の希望破壊確率を与える安全率の“計算法”、接着継手の劣化の主要原因である温度、湿度、機械的応力などのストレスと劣化速度との理論的關係およびそれに基づいた加速試験による“寿命予測法”について詳しく解説します。

プログラム概要 (詳細はホームページに掲載しております)

1. 接着力発現の原理
2. 各被着材に適した接着剤の選定法
3. 接着剤の種類、特徴および最適接着剤の選定法
4. 被着材に対する表面処理法の選定法
5. 最新の異種材料接合法
6. 射出成形および融着における接着力発現のメカニズム
7. 接着継手形式および負荷外力の種類
8. 各継手の応力分布および強度評価
9. 最適接合部の設計
10. 接着接合部の故障確率と安全率との関係(ストレス-強度のモデル)
11. 所定年数使用後の接着接合部に要求される故障確率確保に必要な安全率の計算法
12. 接着接合部劣化の三大要因ならびに加速試験と加速係数
13. アレニウス式(温度条件)による耐久性加速試験および寿命推定法
14. アイリングの式およびジュコフの式によるストレス、湿度負荷条件下の耐久性加速試験および寿命推定法
15. 金属/接着界面の耐水安定性についての熱力学的検討および耐水性向上法
16. 繰り返し応力(疲労)による加速耐久性評価および寿命予測法
17. 接着接合部のクリーブ破壊強度評価および寿命予測法
18. 接着トラブルの原因別分類と対策および実際のトラブル事例と対策

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ  
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
 E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 異種材料接着・接合技術の最新と強度・耐久性評価法の実務

セミナーコード

1101-191009

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/10/9 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	( )
				-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み